記者発表資料

平成２５年　7月２５日
酒田河川国道事務所

7月18日低気圧に伴う降雨に関する速報資料

～月山ダム運用開始（平成14年）以降第1位の水位を記録～

７月１８日からの低気圧に伴う降雨による水位上昇に伴い、酒田河川国道事務所では、７月１８日４時４０分に河川災害対策支部を設置し、７月１９日１７時１０分に体制解除するまで危機管理対応にあたっておりました。
赤川の洪水規模は、月山ダム運用開始（平成１４年）以降「第１位」を記録する大きな洪水となりました。
今回の洪水に関する速報資料を作成しましたので、お知らせいたします。

●添付資料

平成２５年7月１７日～低気圧に伴う降雨最上川下流

平成２５年7月１７日～低気圧に伴う降雨赤川

発表記者会：・酒田記者クラブ・鶴岡記者会

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所
住所　酒田市上安町１丁目２番１号
TEL　０２３４－２７－３３３１（代表）
副所長（河川）　阿 部　富 雄　（内線２０４）
調査第一課長　天 野　厚 毅　（内線３５１）

平成25年7月25日
国土交通省
酒田河川国道事務所

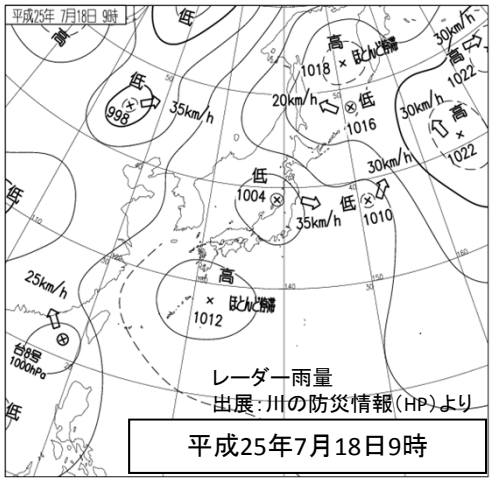
平成25年7月17日～低気圧に伴う降雨
最上川下流

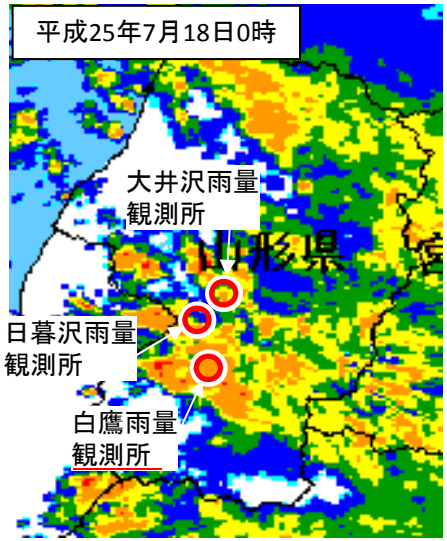
《ポイント》
●最上川下流域の水位は、観測史上「第6位」を記録

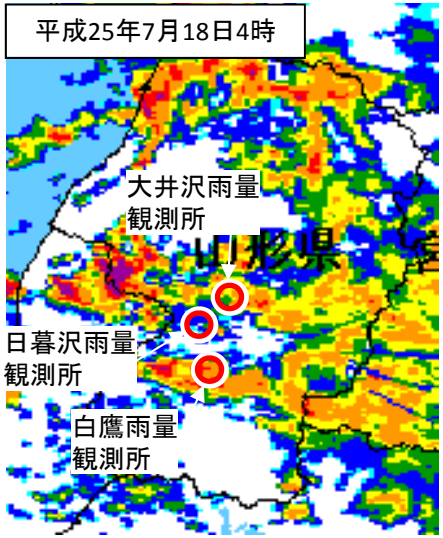
※速報値であるため、今後情報が
変更となることもあります。

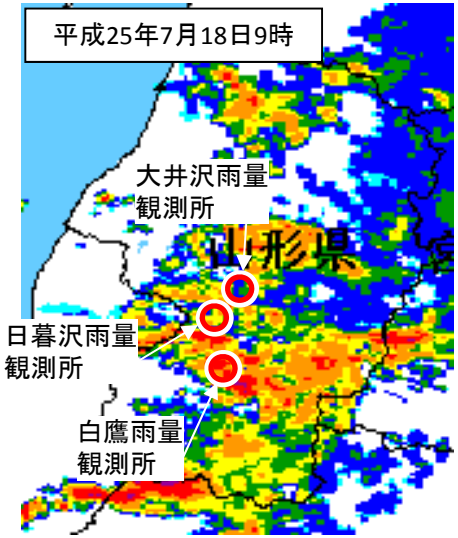
最上川上流域で日雨量、最大時間雨量が観測史上「第１位」を記録

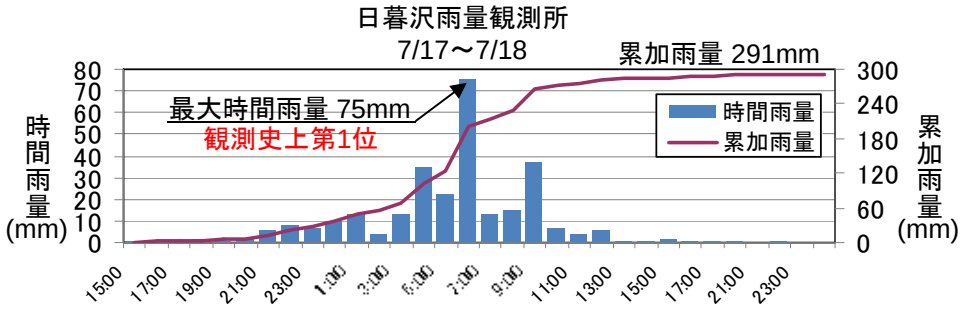
東北地方に停滞した低気圧に向かう暖かく湿った空気や、上空の寒気の影響で17日夜半から2日間に渡り雨域が山形県を通過。これにより最上川上流域の雨量観測所では、累加雨量が250mmを超過。また、観測史上「1位」となる日雨量212mm、時間雨量75mmを記録するなど、短時間に集中した豪雨もあり大きな出水となった。

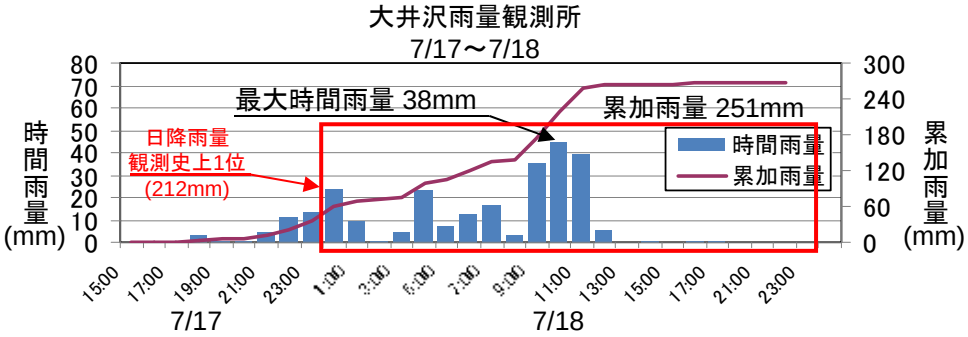


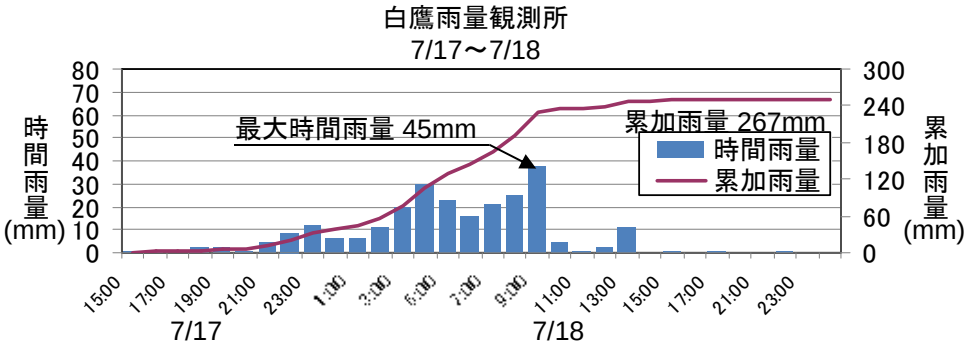










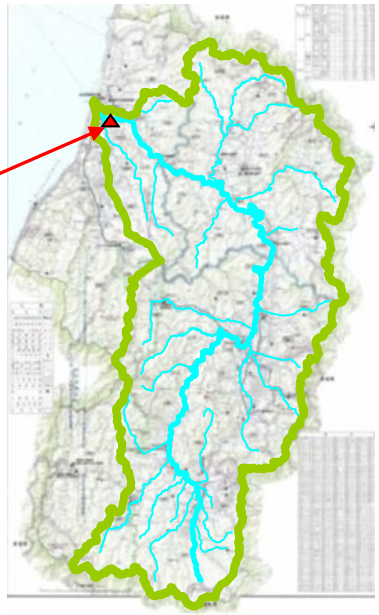


最上川下流で観測史上「第6位」の水位を記録

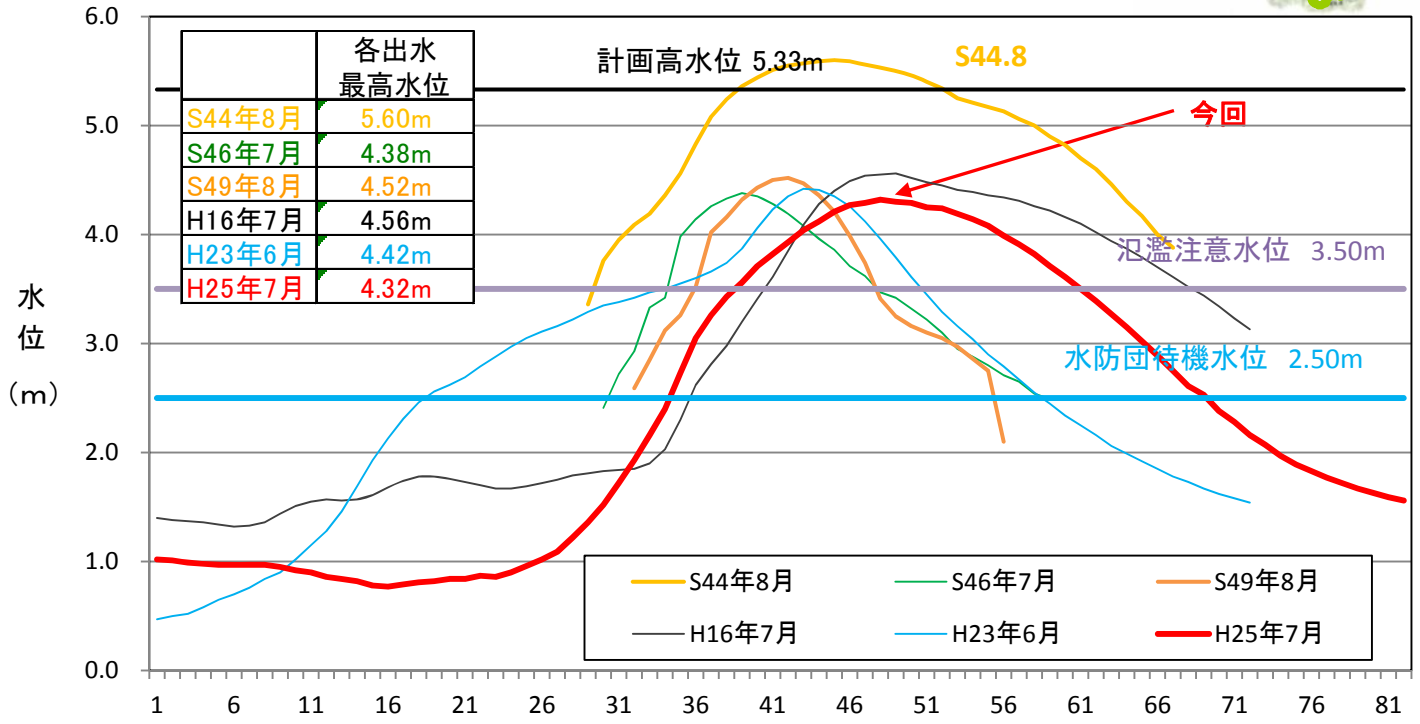
今回の洪水規模は、最上川下流流域で観測史上第6位の水位を記録。

両羽橋水位流量観測所

順位	起生年月	水位(m)
第1位	昭和44年　8月	5.60
第2位	平成16年　7月	4.56
第3位	昭和49年　8月	4.52
第4位	平成23年　6月	4.42
第5位	昭和46年　7月	4.38
第6位	平成25年　7月	4.32

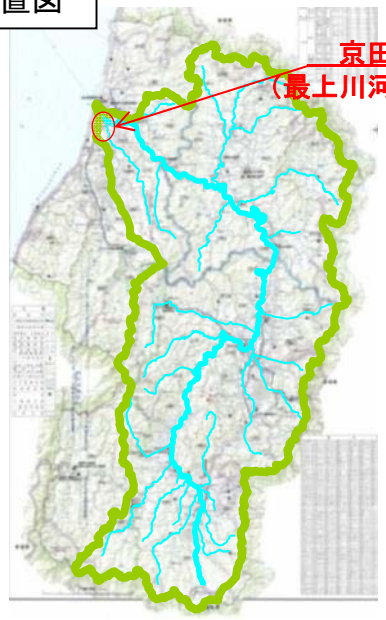


【両羽橋水位観測所】



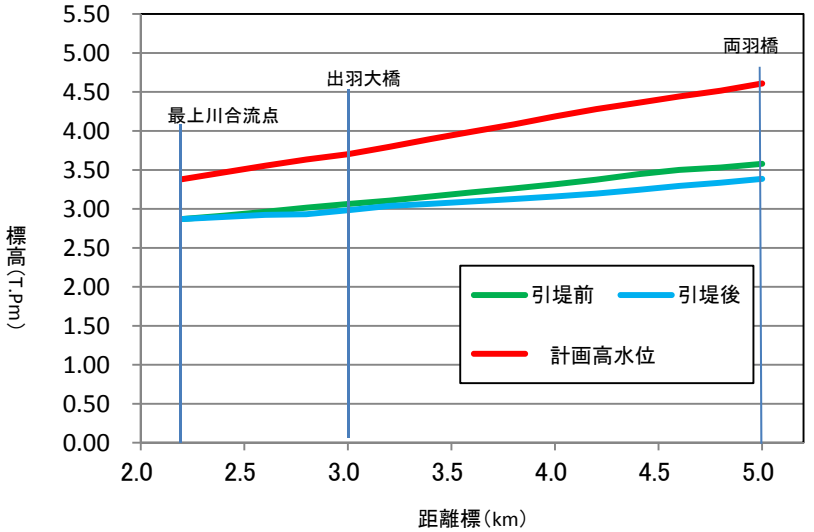
京田川引堤による水位低減効果

位置図

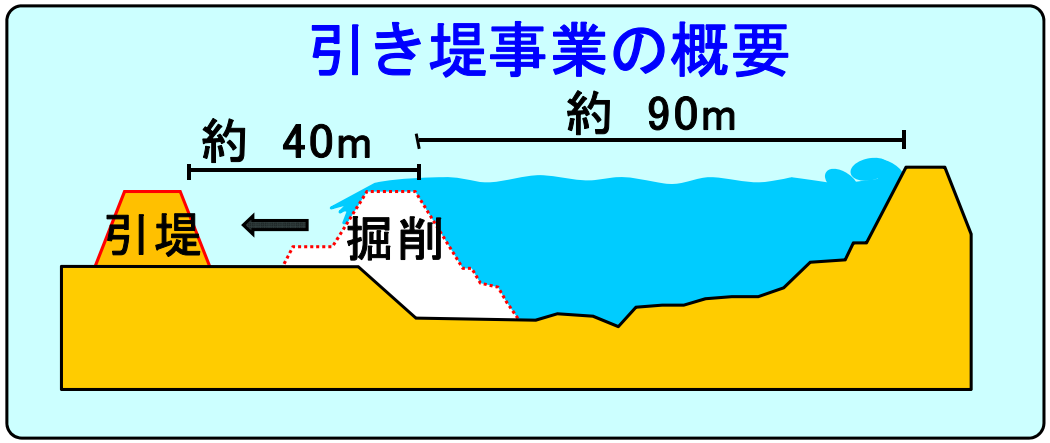


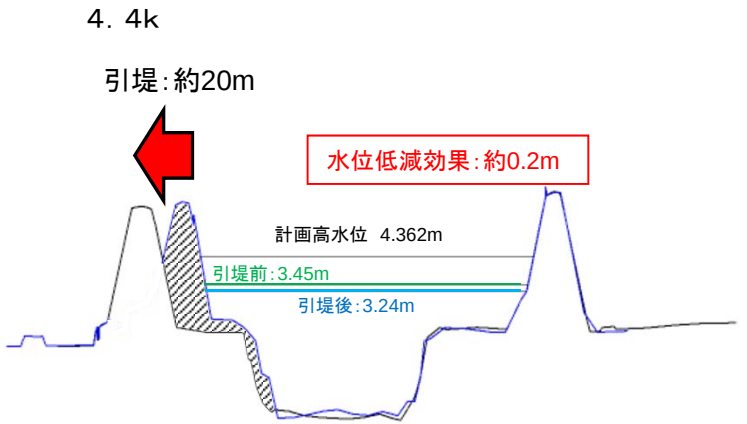
京田川では、昨年度に引堤事業が完了した。今回の出水における引堤による水位低減効果は、約0.2m程度あったと推測されます。



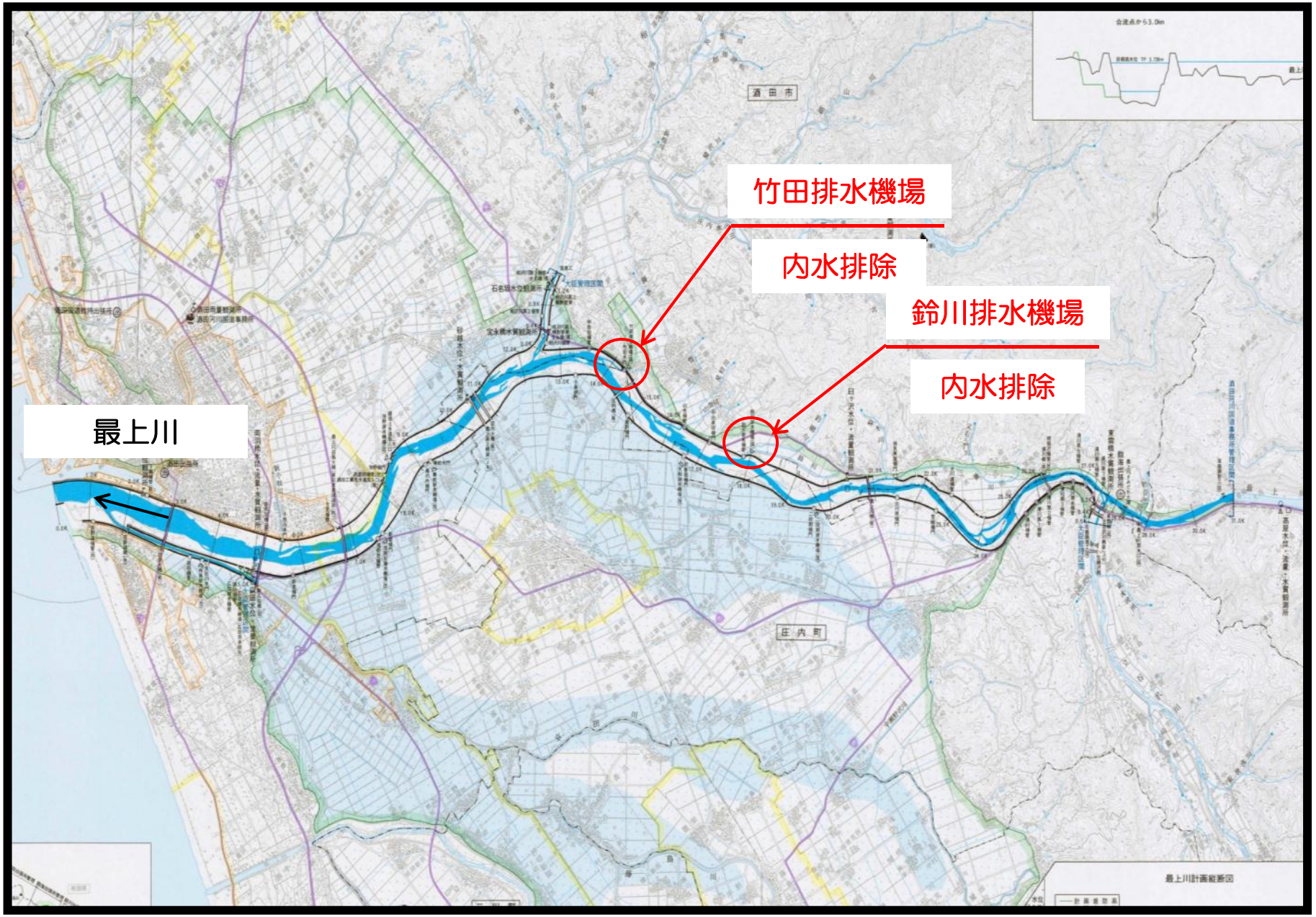


京田川水位縦断図（引堤前後）





浸水被害軽減対策



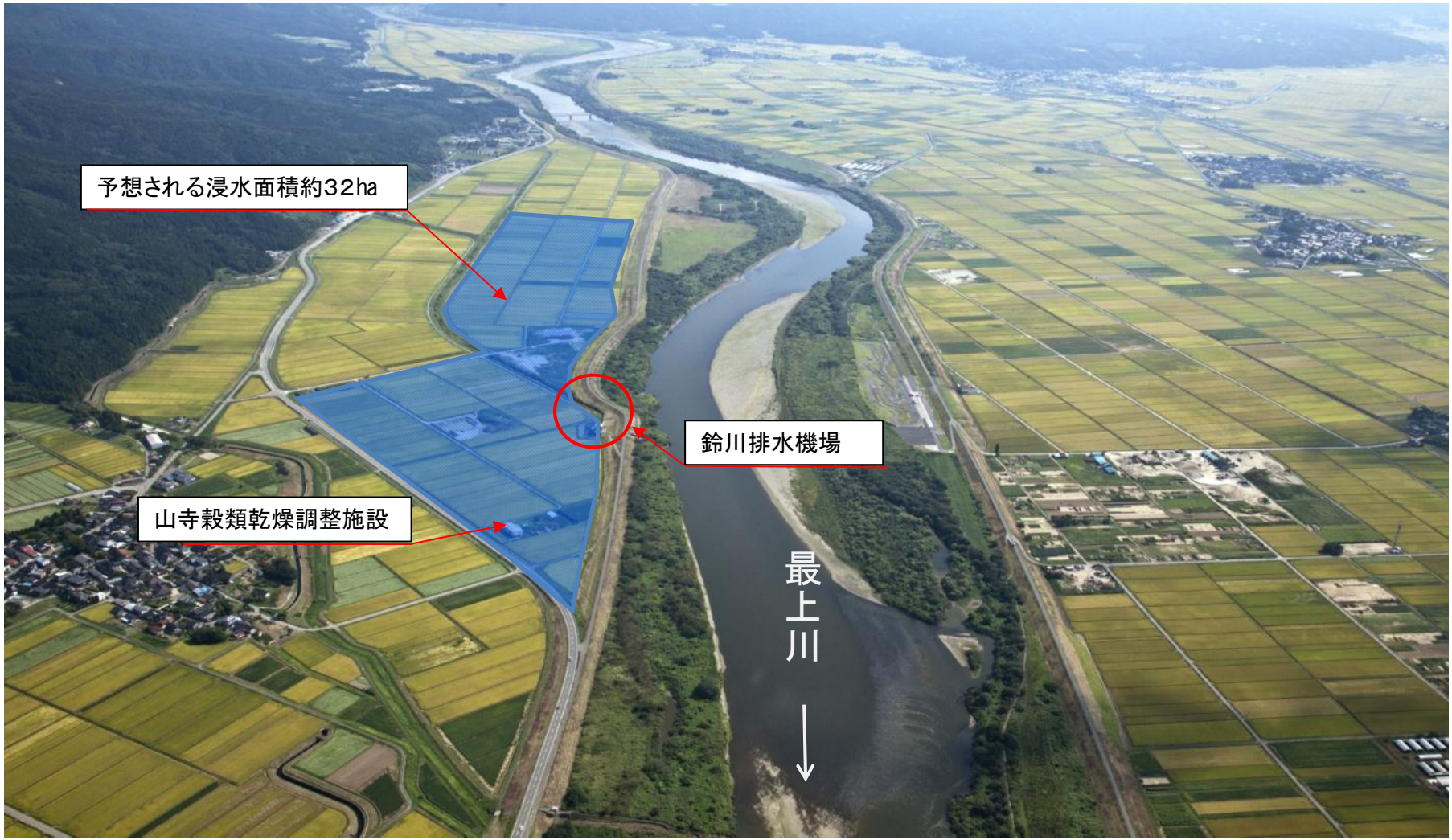
竹田排水機場による被害軽減効果

今回の洪水において、酒田市竹田地区の内水被害の危険性が生じたことから、排水機場を稼働。仮に排水が行われなかった場合に対して、酒田市下水処理場の浸水防止と湛水面積約39haの被害軽減効果があったと想定されます。（排水ポンプの稼働時間37時間）



鈴川排水機場による被害軽減効果

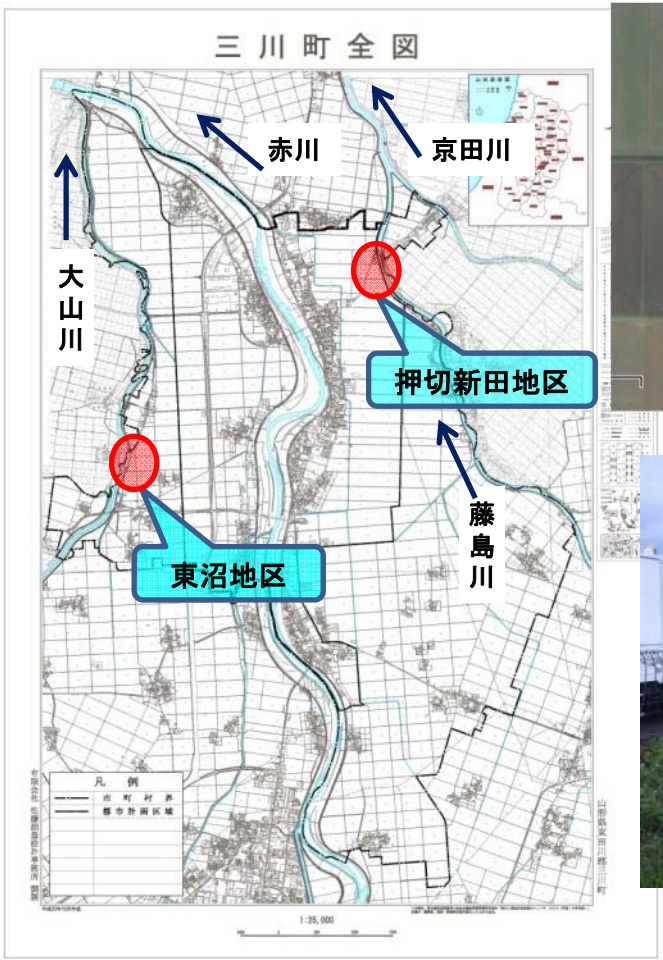
今回の洪水において、酒田市山寺地区の内水被害の危険性が生じたことから、排水機場を稼働。
仮に排水が行われなかった場合に対して、山寺穀類乾燥調整施設の浸水防止と湛水面積約32haの被害軽減効果があったと想定されます。（排水ポンプの稼働時間30時間）

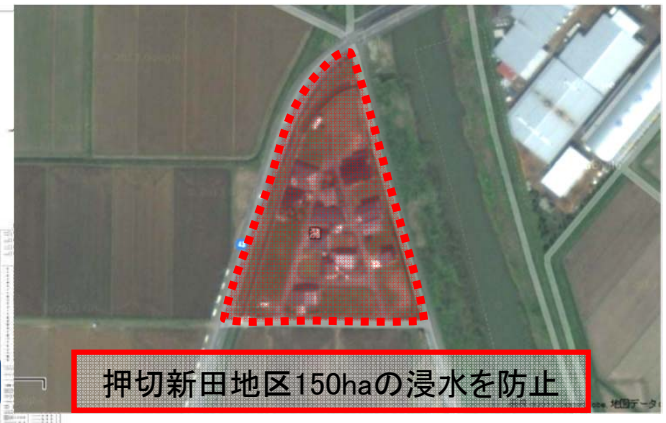


排水ポンプ車による浸水被害軽減効果

今回の洪水で三川町の要請により、三川町押切新田地区と東沼地区に排水ポンプ車を出動させた。

・押切地区：約１１時間稼働し約2万m3の内水を排除。約150ha10戸の浸水被害を防止。
・東沼地区：約4時間稼働し約1万m3の内水を排除。約100haの浸水被害を防止。









押切新田地区排水作業状況
内水を藤島川へ排水



東沼地区排水作業状況
内水を大山川へ排水

酒田河川国道事務所の洪水体制等の状況

河川災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	注意体制	解除
河川	7月18日　4時40分	7月18日　8時10分		7月19日14時20分	7月19日17時10分

最上川水防警報発令状況

河川名		水位観測所	水防警報（準備）発令時間	水防警報（出動）発令時間	水防警報（解除）発令時間	受け持ち区間	
最上川水系	最上川	臼ヶ沢	7月18日10時20分	7月18日11時50分	7月19日11時40分	左岸 右岸	最上川左岸：立谷沢川合流点～JR最上川第2橋梁 最上川右岸：清川橋～JR最上川第2橋梁 立谷沢川左岸：最上川合流点～北楯堰橋 立谷沢川右岸：最上川合流点～北楯堰橋
		下瀬	7月18日10時20分	7月18日13時10分	7月19日14時00分	左岸 右岸	最上川左岸：JR最上川第2橋梁～河口 最上川右岸：JR最上川第2橋梁～河口
	相沢川	石名坂	7月18日 6時00分	7月18日14時20分	7月19日 9時10分	左岸 右岸	相沢川左岸：最上川合流点～酒田市石名坂地先 相沢川右岸：最上川合流点～酒田市楢橋地先
	京田川	広田	7月18日 6時00分	7月18日10時30分	7月19日 1時40分	左岸 右岸	京田川左岸：最上川合流点～広田橋 京田川右岸：最上川合流点～広田橋

排水ポンプ車稼働状況

地区	排水機械	運転開始	運転終了	運転時間	総排水量
三川町押切新田地区	排水ポンプ車	7月18日　8時57分	7月18日19時40分	10時間43分	約2万m3
三川町東沼地区	排水ポンプ車	7月18日12時10分	7月18日16時00分	3時間50分	約1万m3

河川巡視

河川	出張所名	巡視時間
最上川	酒田出張所管内	7月18日10時43分～7月19日16時38分
	飽海出張所管内	7月18日10時43分～7月19日15時50分

平成25年7月25日
国土交通省
酒田河川国道事務所

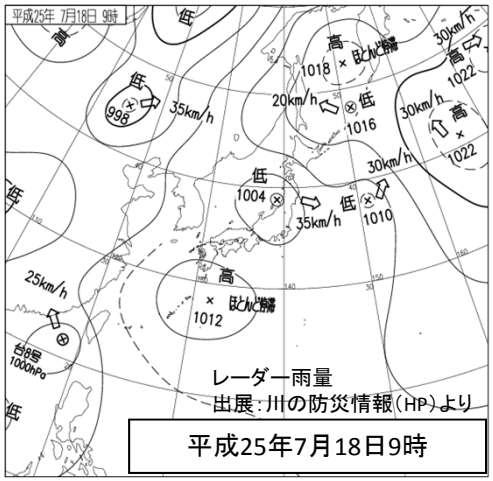
平成25年7月17日～低気圧に伴う降雨
赤川

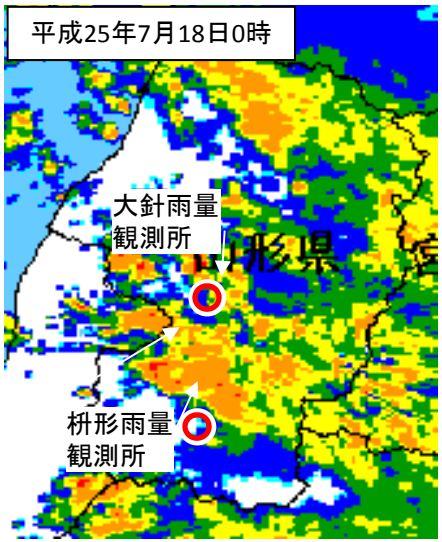
《ポイント》
●赤川流域の水位は、観測史上「第５位」を記録
●月山ダムでは、運用開始以降「第１位」の流入量を記録
（赤川熊出観測所でも月山ダム運用開始以降「第１位」の水位を記録）

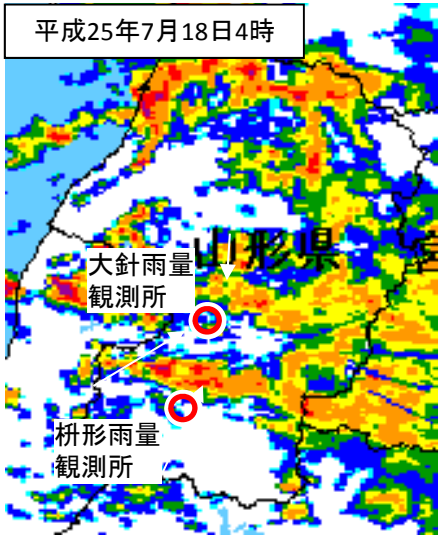
※速報値であるため、今後情報が
変更となることもあります。

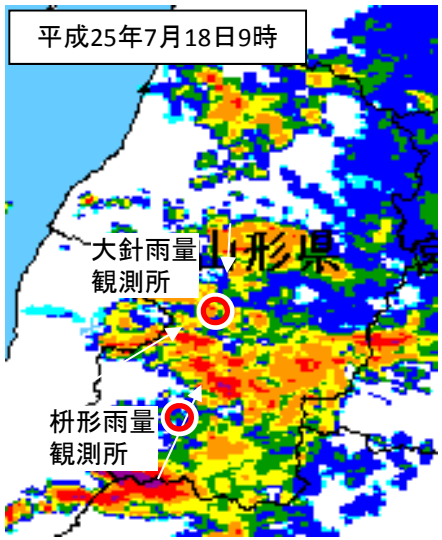
赤川上流域で大針地点・最大時間雨量が72mmを超過

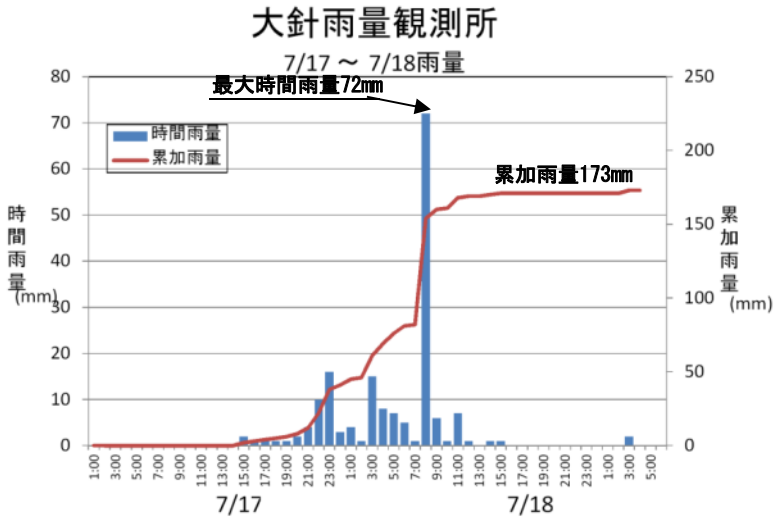
東北地方に停滞した低気圧に向かう暖かく湿った空気や、上空の寒気の影響で17日夜半から2日間に渡り雨域が山形県を通過。これにより赤川上流域の雨量観測所では、軒並み累加雨量が160mmを超過。特に大針地点では、最大時間雨量72mmとなり、短時間に集中した豪雨もあり大きな出水となった。

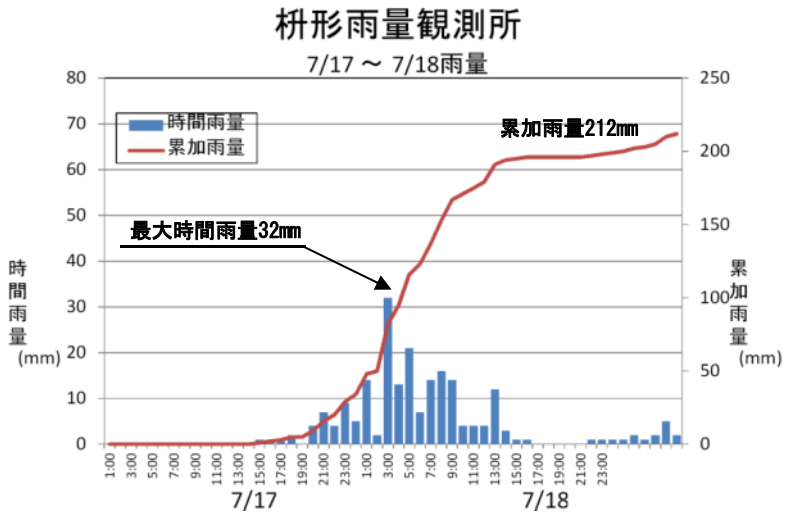












赤川で観測史上「第5位」の水位を記録、月山ダム運用以降では「第１位」を記録

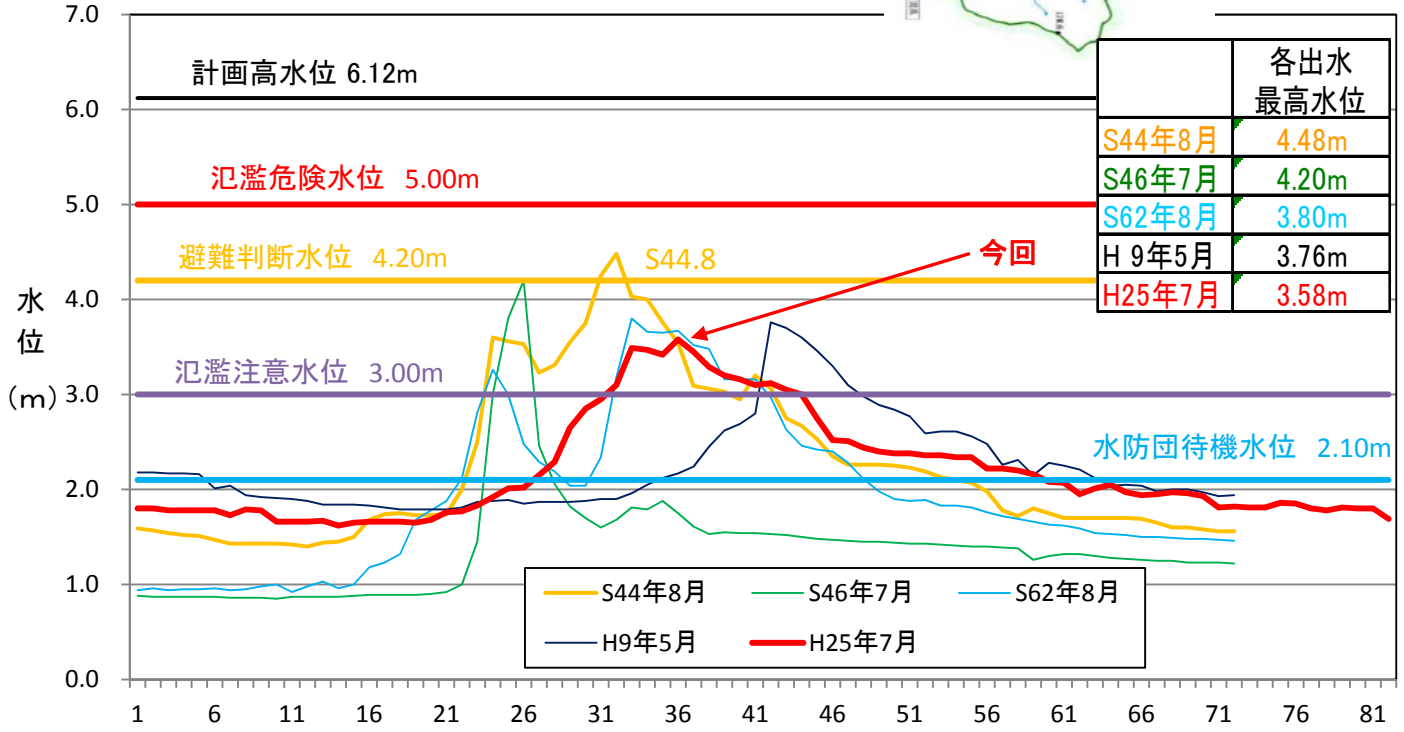
今回の洪水規模は、赤川流域で観測史上第5位の水位を記録。月山ダムでは最大流入量が1，165m3／秒となり運用開始（平成14年）以降第１位の流入量を記録。熊出観測所でもダム運用開始以降第１位の水位記録となった。なお、熊出地点では約1．0mの水位を低減させ避難判断水位を超えない効果があったものと推測されます。

熊出水位流量観測所

順位	起生年月	水位(m)
第1位	昭和44年　8月	4.48
第2位	昭和46年　7月	4.20
第3位	昭和62年　8月	3.80
第4位	平成 9年　5月	3.76
第5位	平成25年　7月	3.58
第6位	平成23年　6月	3.57



【熊出水位観測所】



	各出水最高水位
S44年8月	4.48m
S46年7月	4.20m
S62年8月	3.80m
H 9年5月	3.76m
H25年7月	3.58m

河道掘削及びダムによる水位低減効果（押切地点）

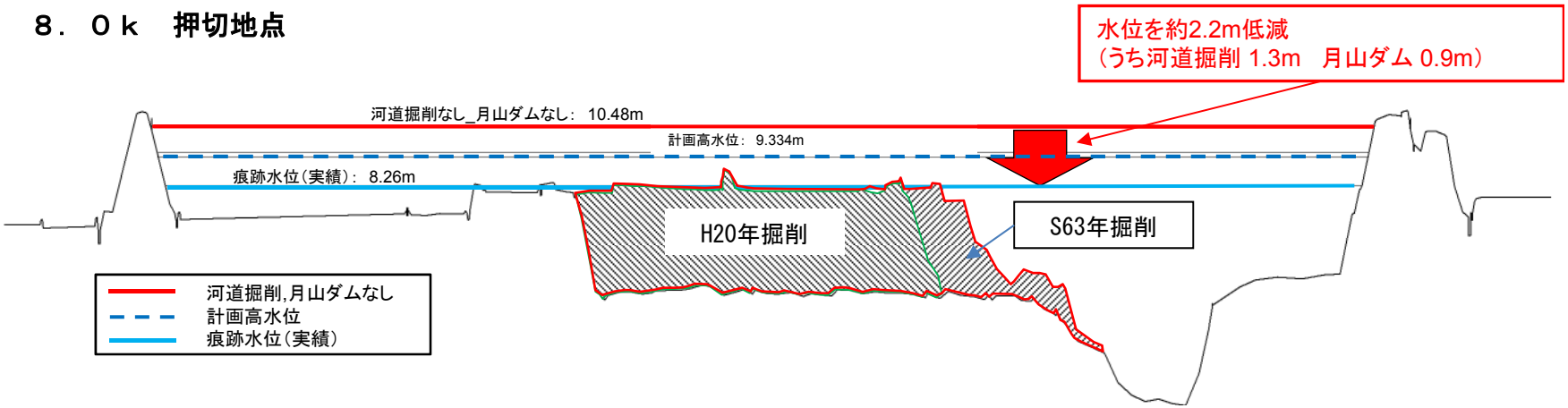
位置図



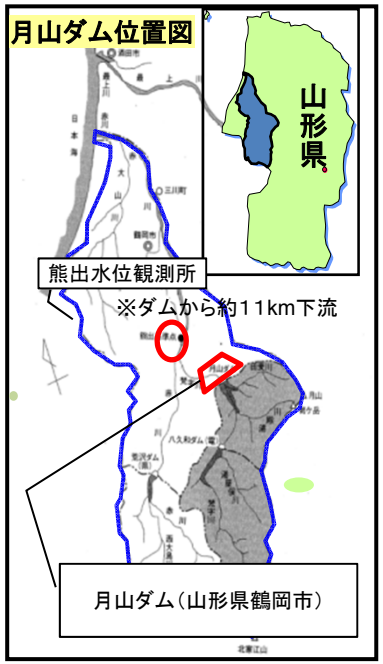
押切地点では、河道掘削により約1.3m、月山ダムにより約0.9m、合わせて約2.2mの水位低減効果があったと推測されます。また、河道掘削と月山ダムが無かった場合を想定すると、計画高水位を約1.1m超過していたと推定されます。

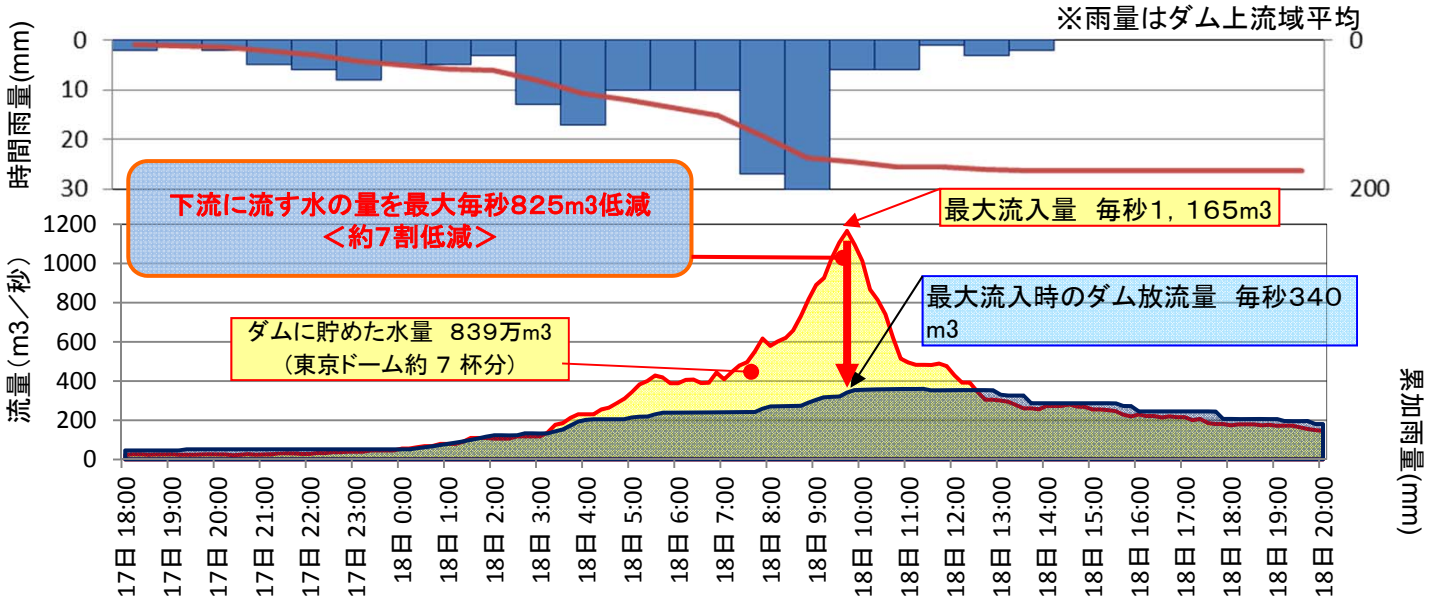


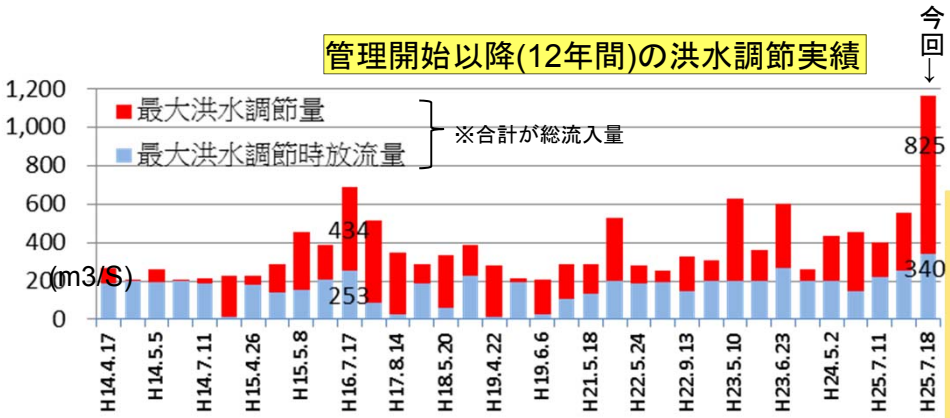
８．０ｋ　押切地点

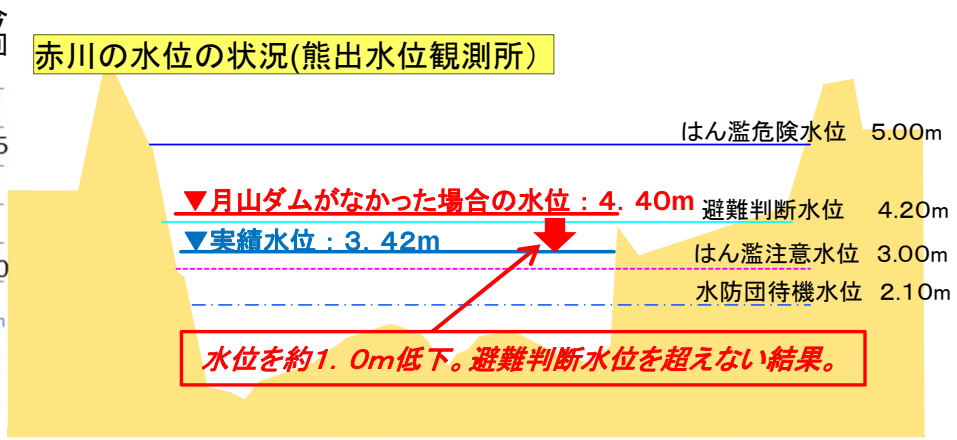


月山ダムによる効果

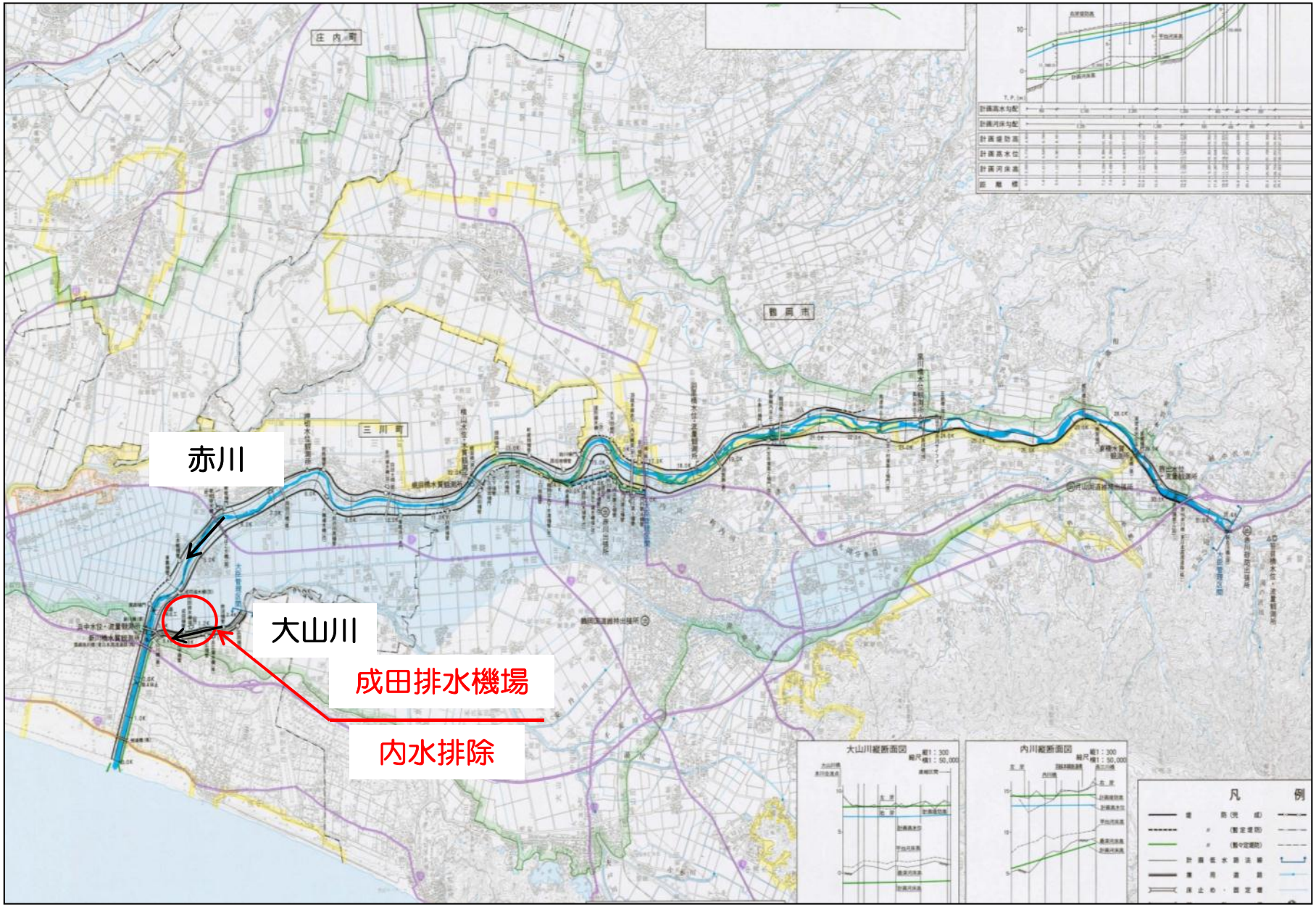

月山ダム位置図
山形県
熊出水位観測所
※ダムから約11km下流
月山ダム（山形県鶴岡市）


※雨量はダム上流域平均
時間雨量(mm)
流量（m3／秒）
累加雨量(mm)
下流に流す水の量を最大毎秒825m3低減
＜約7割低減＞
最大流入量　毎秒1，165m3
最大流入時のダム放流量　毎秒340 m3
ダムに貯めた水量　839万m3
（東京ドーム約 7 杯分）
17日 18:00
17日 19:00
17日 20:00
17日 21:00
17日 22:00
17日 23:00
18日 0:00
18日 1:00
18日 2:00
18日 3:00
18日 4:00
18日 5:00
18日 6:00
18日 7:00
18日 8:00
18日 9:00
18日 10:00
18日 11:00
18日 12:00
18日 13:00
18日 14:00
18日 15:00
18日 16:00
18日 17:00
18日 18:00
18日 19:00
18日 20:00


管理開始以降(12年間)の洪水調節実績
今回
最大洪水調節量
最大洪水調節時放流量
※合計が総流入量
(m3/S)
825
434
340
253
H14.4.17
H14.5.5
H14.7.11
H15.4.26
H15.5.8
H16.7.17
H17.8.14
H18.5.20
H19.4.22
H19.6.6
H21.5.18
H22.5.24
H22.9.13
H23.5.10
H23.6.23
H24.5.2
H25.7.11
H25.7.18


赤川の水位の状況(熊出水位観測所)
はん濫危険水位　5.00m
▼月山ダムがなかった場合の水位：4．40m
避難判断水位　4.20m
▼実績水位：3．42m
はん濫注意水位　3.00m
水防団待機水位　2.10m
水位を約1．0m低下。避難判断水位を超えない結果。

浸水被害軽減対策



成田排水機場による被害軽減効果

今回の洪水において、三川町成田地区の内水被害の危険性が生じたことから、排水機場を稼働。仮に排水が行われなかった場合に対して、湛水面積約70haの農地の被害軽減効果があったと想定されます。（排水ポンプの稼働時間16時間）



酒田河川国道事務所の洪水体制等の状況

河川災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	注意体制	解除
河川	7月18日　4時40分	7月18日　8時10分		7月19日14時20分	7月19日17時10分

赤川水防警報発令状況

河川名		水位観測所	水防警報（準備）発令時間	水防警報（出動）発令時間	水防警報（解除）発令時間	受け持ち区間	
赤川水系	赤川	熊出	7月18日 5時10分	7月18日 9時00分	7月19日20時40分	左岸 右岸	赤川左岸：鶴岡市名川橋～黒川橋 赤川右岸：鶴岡市名川橋～黒川橋
		羽黒橋	7月18日 6時00分	7月18日 9時00分	7月18日19時50分	左岸 右岸	赤川左岸：黒川橋～鶴岡市湯野沢 赤川右岸：黒川橋～蛾眉橋 内川左岸：赤川合流点～西三川橋 内川右岸：赤川合流点～西三川橋
		浜中	7月18日 9時00分	7月18日10時30分	7月18日19時50分	左岸 右岸	赤川左岸：三川町青山～酒田市浜中 最上川右岸：蛾眉橋～酒田市浜中 大山川左岸：赤川合流点～酒田市広岡新田地先 大山川右岸：赤川合流点～三川町大字成田新田地先

排水ポンプ車稼働状況

地区	排水機械	運転開始	運転終了	運転時間	総排水量
三川町押切新田地区	排水ポンプ車	7月18日　8時57分	7月18日19時40分	10時間43分	約2万m3
三川町東沼地区	排水ポンプ車	7月18日12時10分	7月18日16時00分	3時間50分	約1万m3

河川巡視

河川	出張所名	巡視時間
赤川	赤川出張所管内	7月18日 9時 6分～7月19日 8時56分